



2025年8月14日

各位

会社名 株式会社あかつき本社
代表者名 代表取締役社長 島根 秀明
(コード 8737 東証スタンダード)
問合せ先 経営管理部長 宮田 康博
(TEL 03-6821-0606)

連結子会社（あかつき証券株式会社）の2026年3月期第1四半期決算について

当社の連結子会社であるあかつき証券株式会社（代表取締役社長：工藤英人、本社：東京都中央区）の2026年3月期第1四半期決算（日本基準・連結）について、添付のとおりお知らせいたします。

なお、当社の2026年3月期第1四半期連結決算の状況については、本日発表いたしました四半期決算短信をご参照ください。

以上

2025年8月14日

2026年3月期 第1四半期決算のお知らせ

あかつき証券株式会社

あかつき証券株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：工藤英人）の2026年3月期第1四半期決算（日本基準・連結）は以下のとおりとなりましたのでお知らせします。

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の第1四半期連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前年同四半期増減率）

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期 第1四半期	3,107	△26.2	3,080	△26.5	343	△43.6	345	△44.0	217	△47.5
2025年3月期 第1四半期	4,208	-	4,192	-	609	-	616	36.8	413	35.6

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期209百万円（△49.9%） 2025年3月期第1四半期417百万円（36.8%）

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2026年3月期第1四半期	5	50	-	-
2025年3月期第1四半期	10	48	-	-

（注）1 2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、記載していません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載していません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期 第1四半期	55,388	8,772	15.8	221.86
2025年3月期	44,202	8,539	19.3	215.96

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 8,763百万円 2025年3月期 8,530百万円

2. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

当社グループの主たる事業である金融商品取引業の業績は経済情勢や相場環境によって大きく影響を受ける状況にあり、連結業績予想を行うことが困難であることから、開示していません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有
新規 1社 (社名) 持分法適用関連会社：株式会社しん証券さかもと
除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期1Q	39,500,791株	2025年3月期	39,500,791株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	—	2025年3月期	—
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	39,500,791株	2025年3月期1Q	39,500,791株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

【添付資料】

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
3. 補足情報	9
(1) 連結損益計算書の四半期推移	9
(2) 預り資産	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年6月30日まで）における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調を維持しつつも、生活必需品を中心とした物価高が消費者マインドに影響を与えており、個人消費は弱含みとなっております。企業による設備投資の動きは足元堅調であるものの、米国の関税政策の不確実性が今後マイナスの影響を与える可能性があります。また、ウクライナ及び中東情勢の長期化といった地政学的な緊張等により、世界経済の先行きの不透明感が一層高まり、景気後退への警戒感が強まる状況が続いております。

こうした状況の下、当社グループでは、コアビジネスである金融商品仲介ビジネス（以下、「IFAビジネス」と言います。）の拡大、及び金融機関等とのアライアンスの強化を戦略的に推進しました。

IFAビジネスでは、契約仲介業者による顧客サポートの充実に貢献すべく、強みとする対面サポート体制の強化に加え、システム面での利便性向上や商品ラインナップの拡充などを進めております。対面サポート体制については、オペレーターによる米国株式の電話受注時間を20時まで延長し、米国株式取引の強化を進めました。システム面では、外国債券取引に関する必要書面交付の電子化を進め、外国債券取引の利便性向上を図りました。商品面では、新NISA制度の対象銘柄を中心に国内投資信託の取扱本数を731銘柄まで増加させ、併せて外国投資信託の取扱いを拡充し、多様化する商品ニーズに対応しました。また、外国債券について、最低券面未満取引の対象銘柄を拡充し、顧客の投資機会の拡大に努めました。

本年4月に、従来より国内株式の取次等を行う母店取引などで関係を深めていた(株)しん証券さかもと（本店所在地：石川県金沢市）の普通株式を追加取得し持分法適用会社（議決権所有割合33.7%）といたしました。また、同月に子会社のジャパンウェルズアドバイザーズ(株)（金融商品仲介業者）（以下「JWA」という。）において、同業者の(株)Innovation IFA Consultingの委任型IFA部門を吸収分割により取得し、IFAの人員増強、顧客基盤の拡大を図りました。

結果として2025年6月末の契約仲介業者外務員数は1,912名（2025年3月末比18名増）、子会社のJWAの提携金融機関における管理資産残高を含めた預り資産残高は6,789億円（同529億円増）、IFA部門の預り資産残高は4,241億円（同356億円増）と拡大しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は3,107百万円、（前期比26.2%減）、純営業収益は3,080百万円（同26.5%減）、販売費・一般管理費は2,736百万円（同23.6%減）、営業利益は343百万円（同43.6%減）となり、経常利益は345百万円（同44.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は217百万円（同47.5%減）となりました。

主な収益・費用の状況は以下のとおりです。

【受入手数料】

受入手数料の合計は1,660百万円となりました。科目別の内訳は以下のとおりです。

[委託手数料]

委託手数料は、国内株式取引を中心に1,024百万円となりました。

[募集・売出しの取扱手数料]

募集・売出しの取扱手数料は、投資信託の販売手数料を中心に 351 百万円となりました。

[その他の受入手数料]

その他の受入手数料は、投資信託の信託報酬を中心に 283 百万円となりました。

【トレーディング損益】

トレーディング損益は、債券の販売を中心に 1,321 百万円となりました。

【金融収支】

金融収益は 125 百万円となりました。また、金融収益から金融費用を差し引いた金融収支は 98 百万円となりました。

【販売費及び一般管理費】

販売費及び一般管理費は 2,736 百万円となりました。主な内訳は取引関係費 1,554 百万円、人件費 791 百万円、事務費 205 百万円、不動産関係費 118 百万円となっております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

[資産]

当第 1 四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて 11,185 百万円増加し 55,388 百万円となりました。これは、現金・預金が 4,623 百万円、預託金が 5,600 百万円、差入保証金が 1,249 百万円増加したこと等によるものです。

[負債]

当第 1 四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて 10,952 百万円増加し 46,615 百万円となりました。これは、預り金が 11,032 百万円、信用取引負債が 711 百万円増加し、短期借入金 が 700 百万円減少したこと等によるものです。

[純資産]

当第 1 四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて 233 百万円増加し、8,772 百万円となりました。これは、利益剰余金が 241 百万円増加したこと等によるものです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金・預金	10,860	15,484
預託金	23,800	29,400
トレーディング商品	7	3
約定見返勘定	936	1,097
信用取引資産	4,682	4,143
信用取引貸付金	4,471	3,569
信用取引借証券担保金	210	573
差入保証金	1,471	2,720
未収入金	455	518
未収収益	275	374
その他	240	117
流動資産合計	42,729	53,858
固定資産		
有形固定資産	299	294
無形固定資産	251	288
投資その他の資産		
投資有価証券	540	633
長期差入保証金	174	174
その他	382	313
貸倒引当金	△175	△175
投資その他の資産合計	921	946
固定資産合計	1,473	1,529
資産合計	44,202	55,388

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
トレーディング商品	-	63
信用取引負債	1,157	1,868
信用取引借入金	873	1,123
信用取引貸証券受入金	284	745
有価証券担保借入金	193	192
預り金	22,468	33,500
受入保証金	800	797
短期借入金	8,900	8,200
未払法人税等	164	54
賞与引当金	237	68
未払金	949	1,008
未払費用	171	196
その他	122	147
流動負債合計	35,165	46,098
固定負債		
退職給付に係る負債	225	233
役員株式給付引当金	100	107
その他	116	119
固定負債合計	442	461
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	55	55
特別法上の準備金合計	55	55
負債合計	35,663	46,615
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,067	3,067
資本剰余金	1,349	1,349
利益剰余金	4,084	4,325
株主資本合計	8,501	8,742
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29	21
その他の包括利益累計額合計	29	21
新株予約権	9	9
純資産合計	8,539	8,772
負債・純資産合計	44,202	55,388

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業収益		
受入手数料	1,733	1,660
委託手数料	1,058	1,024
引受け・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の手数料	1	1
募集・売出し・特定投資家向け 売付け勧誘等の取扱手数料	493	351
その他の受入手数料	180	283
トレーディング損益	2,336	1,321
金融収益	138	125
営業収益計	4,208	3,107
金融費用	16	26
純営業収益	4,192	3,080
販売費・一般管理費	3,582	2,736
取引関係費	2,393	1,554
人件費	815	791
不動産関係費	104	118
事務費	203	205
減価償却費	24	28
租税公課	23	20
その他	18	18
営業利益	609	343
営業外収益	9	7
営業外費用	3	6
経常利益	616	345
特別損失	0	0
税金等調整前四半期純利益	615	345
法人税、住民税及び事業税	79	53
法人税等調整額	122	74
法人税等合計	201	127
四半期純利益	413	217
親会社株主に帰属する四半期純利益	413	217

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	413	217
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△7
その他の包括利益合計	3	△8
四半期包括利益	417	209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417	209
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

当社グループは、外貨建て預金の運用収益を、従来、営業外収益の受取利息に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、営業収益の金融収益に計上することとしました。

これは、当社グループが外国株式及び外国債券など外貨建て金融商品の取引拡大を進める中で、当該取引と関連性の高い外貨建て預金の運用収益について、その性質を、より適切に連結財務諸表へ反映するために見直しを行ったことから、会計方針の変更を実施したものであります。当該会計方針の変更は遡及適用されております。

この結果、遡及適用を行う前と比較して、前第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書は、営業収益、純営業収益、営業利益がそれぞれ104百万円増加し、営業外収益が104百万円減少しております。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、「証券関連事業」という単一セグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む）は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	24百万円	28百万円

3. 補足情報

(1) 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

	前連結会計年度				当連結会計年度
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期
	2024. 4. 1 2024. 6. 30	2024. 7. 1 2024. 9. 30	2024. 10. 1 2024. 12. 31	2025. 1. 1 2025. 3. 31	2025. 4. 1 2025. 6. 30
営業収益					
受入手数料	1,733	1,498	1,738	1,939	1,660
トレーディング損益	2,336	1,973	2,390	1,818	1,321
金融収益	138	146	150	177	125
営業収益計	4,208	3,618	4,279	3,935	3,107
金融費用	16	18	18	48	26
純営業収益	4,192	3,600	4,261	3,887	3,080
販売費・一般管理費	3,582	3,202	3,686	3,359	2,736
営業利益	609	397	574	527	343
営業外収益	9	4	3	17	7
営業外費用	3	3	17	5	6
経常利益	616	397	560	539	345
特別利益	-	-	2	-	-
特別損失	0	6	7	14	0
税金等調整前当期純利益	615	391	556	525	345
法人税、住民税及び事業税	79	136	136	118	53
法人税等調整額	122	△111	41	△39	74
法人税等合計	201	24	178	79	127
当期純利益	413	366	378	445	217
親会社株主に帰属する当期純利益	413	366	378	445	217

(注) 「四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」に記載のとおり、外貨建て預金の運用収益を、従来、営業外収益の受取利息に計上しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、営業収益の金融収益に計上することとしております。

(2) 預り資産

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結会計期間末 (2024年6月末)		当第1四半期 連結会計期間末 (2025年6月末)		前連結会計年度末 (2025年3月末)	
	実績	前年 同四半期比	実績	前年 同四半期比	実績	前期比
預り資産	612,178	137.1%	678,991	110.9%	626,085	112.3%
うち IFA	351,931	143.3%	424,174	120.5%	388,480	123.8%

(注) 預り資産残高は、当社の預り資産残高と、子会社のジャパンウェルスアドバイザーズ株式会社の提携金融機関における管理資産残高の合計となっております。